

2021年 12月

あさかぜ保育園子育て支援だより 12月

2021年が、あっというまに過ぎさろうとしています。今年も残り、三週間程で2022年が来ようとしています。ちなみに、2022年は「五黄の寅」と言いまして九星学において諸説色々ありますが、36年に一度寅年と重なる年だそうです。この年生まれの人は最強の運勢とも言われています。

(残念ながら、ばあばは違いますがある意味強いかも・・・笑) 余談が多くすみません。

毎回、記載するようですが、今年も園自体コロナに翻弄され今までのような保育活動が出来なかったように思います。

しかし、この状況だからこそ出来る事や環境を整え、子どもたちにとってワクワク・ドキドキできるような保育を園全体で考え、楽しんできたように思います。その様子は、キッズリー等でクラスごとに配信する事により保護者の皆様へお知らせしていると思います。(大切な連絡等もあります。必ず、お見逃しのないようお願いいたします)

昨年からのコロナ状況下の中、子どもたちは環境の変化に良く適応してきたと思います。初めは、なかなか環境の変化に馴染めず、保護者の方と離れにくい・保育園への行きしぶり・玄関から入れないなどの様子が見られました。

しかし、保護者の方も保育士も根気よく、ありのまま丸ごとの姿として捉え子どもたちを受け止めていった事が良かったのではないのでしょうか。

ありのまま丸ごとの姿を捉えるってどんな事？

「なんで泣くの?」「泣かない!!」って原因や理由を問い詰めるのではなく、泣かすにはいられない子どもの心に共感していく事なんではないかと思えます。

しかし、「泣き」がなかなかおさまらない子どもの場合は、分かっているつもり、いら立ってしまい、こちらが泣きたくなることもあったのではないのでしょうか。(若かりし頃の私はしょっちゅうでした。涙)そこを、根気良く子どもの表情や表現を探る事・保育園との連携を密にする事で、子どもたちが環境の変化に良く適応できたのではないのでしょうか。

日頃の子どもの様子(言動)を良くみる事・保育園との連携をとること。保育園との連携は、とても大切だと思いませんか。毎日過ごしている家庭と園。疑問に思うことがあれば、心にとどめ溜めるのではなく、しっかりと家庭と園が話し合い、理解することが大切ですよね。

子どもは、家庭と園では違う顔を持っていると思います。お互いがその状況

を分かりあうことが大切だと思いませんか……。 「分かりあう」と言ってもなかなか、難しいですよ。これを言うと変に思われるのでは……。 等等。しかし、疑問に思ったことを溜めると不満と不安の固まりになってしまい、モンスターにお互いが変身したりすることがあります。モンスターになる前に、話し合いをしましょう。一緒に考えていきましょう。園も、しっかりと受け止め前向きに行動する体制はあります。（決して、食べたりしませんよ。笑）

子育てには正解はないと思います。子どもも大人も性格は十人十色。一人ひとりの子どもに寄り添う事で、子どもたちがスクスクと育ち、周りの大人も子どもも笑顔が見られたらいいですね。 限られた子育て時代「楽しまなきゃ損」と気持ちを切り替えませんか。 こう言う私も、子育て真っ盛りの時には「楽しまなきゃ」なんて余裕は、ありませんでした。必死だったことを覚えています。今だからこそ言える事。だからこそ、アドバイスをあえて書かせていただいています。

来年こそは、ウイズコロナで感染予防に最大限の注意をはらいながら色々な行事に保護者の方が参加していただけるよう、園も前向きに検討し実行していきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

今年も保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげで、コロナに感染することなく無事一年間が過ぎたという事は、何よりの喜びだと思います。

子どもたち・保護者の皆様にとって来年も良い年になりますように！  
職員一同願っております。

今月は、ここまで……。

子育てが終わった ばあ～ばより

